

退任のあいさつ

令和4年度も4月に入り桜の開花、入学式等春爛漫の季節となりました。灘分地区の皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私事ではございますが、3月末日を持ちまして、灘分地区自治協会長職を辞することといたしました。平成22年4月より副会長、平成28年より、自治協会長として勤めさせて頂きました。

この12年間地区の皆様には、公私共にご理解、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。顧みますと、平成30年・令和元年、出雲市同和教育研究指定事業地区として、灘分地区人権・同和教育推進協議会の三成重雄会長を先頭に、地区内での研修会等を重ね、活動テーマを「差別に気づき、人権を尊重する人づくり」として、サブテーマを「灘分はひとつの家族」としました。住みよい灘分を目指して取り組み、令和元年11月16日に灘分小学校体育館にて発表会を開催出来た事が、私にとりまして一番の事業であったと思います。

又、未だに終息を見ない新型コロナウイルスの感染も発生以来3年目の春を迎えております。灘分地区自治協会をはじめ各協力団体の諸事業も、延期、中止、書面表決等で運営してまいりました。町内会長をはじめ、地区の皆様のご理解ご協力により、自治協会の運営を無事終えさせて頂きました。新型コロナウイルスも「第7波」が発表されました。従来に増して、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、12年間賜りましたご厚情に対し、厚く感謝を申し上げますと共に、地区の皆様のご健勝とご多幸を祈り退任のご挨拶とさせていただきます。本当に長い間有難うございました。

灘分地区自治協会
前自治協会長 原 邦 男

就任のあいさつ

令和4年の新年度を迎え、灘分地区の皆様には、御健勝の事とお喜び申し上げます。自治協会会長就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

原邦男前会長の退任に伴い、自治協会長の大役を受けることになりました、下出来洲町内の渡部良幸でございます。至らぬものではございますが、どうかよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大、ウクライナ戦争、物価の高騰と暗いニュースばかりでスタートした新年度ではありますが、地区の皆様との話し合いを充分に行い、灘分の安心・安全なまちづくりを進めていきたいと思っております。

先人の英知と、諸先輩の努力により築かれて来た歴史ある灘分であります。今、時代の変化とともにそれぞれの考え方が少しずつ変化しているように思います。いろいろな意見が出る環境を作り、話し合いの中で、皆が協力して課題を解決し、一人ひとりが互いの事を思い合って生きていくことが灘分の明るい住みよいまちづくりだと思っております。

「灘分はひとつの家族」

私は、いたって微力ではありますが、皆様のご協力により、進めていきたいと思っておりますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

灘分地区自治協会
会 長 渡部 良幸

令和4年度 新体制でスタート

令和4年度 灘分地区自治協会組織図

